

平成28年度第3回水産業振興審議会 議事録要旨

- 1 開催日時 平成29年2月3日（金）10：30～12：00
- 2 開催場所 福岡市役所 15階講堂
- 3 出席者 福岡市水産業振興審議会委員 20名（別紙委員名簿参照）
欠席 村上委員，勢良委員
市側 農林水産局長他 14名
- 4 傍聴者 なし
- 5 議題 (1) 福岡市水産業総合計画（案）に対するパブリック・コメントの
実施結果及びその対応について 資料1
資料2
(2) 福岡市水産業総合計画の答申について 資料3
- 6 会議内容 開会宣言，会長の挨拶，委員紹介の後，引き続き審議に入る。

議題（1）福岡市水産業総合計画（案）に対するパブリック・コメントの
実施結果及びその対応について 資料1

資料2 事務局より説明

【会長】

それでは，ただいま説明がありました「福岡市水産業総合計画（案）に対するパブリック・コメントの実施結果及びその対応について」，また，全体を通してご意見などがございましたらお願いします。

【委員】

パブリック・コメントですが，市民との情報の共有を図り，市民の意見を答申に反映させるために行ったとのことですが，提出数4通，内容が17件ということでしたが，この結果について事務局としてどう捉えていますか。

【事務局】

パブリック・コメント提出状況4通17件ですが，5年前のパブリック・コメントでは4通45件でした。水産業総合計画の関連計画である博多湾環境保全計画と福岡市食育推進計画がここ1年内にパブリック・コメントを実施しておりますが，平成28年3月から1か月間パブリック・コメントを実施した福岡市食育推進計画の提出状況は13通35件でございました。平成28年7月から1か月間パブリック・コメントを実施しました博多湾環境保全計画の提出状況は2通10件でありましたので，福岡市水産業総合計画の提出状況は少ないと思っておりますが，5年前の水産業総合計画のパブリック・コメントの提出状況と比較して同程度と認識しております。

【委員】

市民との情報の共有を図りという割には提出数も少ないし，情報プラザや情報公開

室，ホームページに掲載とありますが，どれだけの人が見にくられているのか，実際少ないのではないかと思います。福岡市水産業総合計画を作っているのです，できれば身近な地域の公民館，漁業地域，料理教室など少しでも興味がある人がいるところにしっかり配付すればもっと意見が出てきたのではないかと思います。

【事務局】

この計画案につきましては，漁協各支所には配付したところでございますが，確かに公民館等多くの場所で配付すべきであったと思っておりますので，今後の検討課題とさせていただきます。

【委員】

計画の内容については，これまで審議してきたのであまり言うつもりはありませんが，「福岡市水産業総合計画（案）」に対する意見と対応の11番，13番などは意見への対応について「原案どおり」と説明がありましたが，審議会でも直販所を作ったらいとの意見があります。直販は，朝市・夕市を実施しているのですが，規模は小さいし，現在のままでいいという状況ではありません。そうであれば，こういった市民の意見があるのだから，少し前向きに変えることができないのかという思いがあります。せっかく意見を提出してくれた市民に対して，対応しなければ，意見を出しても何も変わらないと形式的だと思うでしょうからその点もあわせて，頂いた意見については，もう少し前向きな対応をしていただきたいと思います。

【事務局】

今回のパブリック・コメントを実施しまして，川上委員からなかなか広まっていないのではないかとこの意見がありました。情報プラザと区役所にも計画案を置かせていただいておりますが，それに対して提出状況が4通17件でございますので，もう少し情報発信という努力をして多くの市民の皆様の意見を聞いて計画を作りたいと考えておりますので，次期計画の策定の際には，努力してまいります。また，頂いているご意見については，我々も前向きに対応できるものについては，事務局で整理させていただきたいと思います。

【委員】

計画案の公表場所ですが，内部関係者である漁業関係団体に計画案自体を配付するのは不公平な話になるので，以前，水産基本計画のパブリック・コメントを実施した際には，ホームページのURL（データ位置）だけを入れてその紙だけを配付しました。漁協各支所に配付したとのことですが，広く知らせようとしたら，福岡市の広報紙などに掲載するものだと思うのですが。

【事務局】

福岡市の広報紙には掲載しております。

【委員】

それであれば，福岡市の広報紙に掲載しているということも資料1に載せたほうが

いいと思います。

パブリック・コメントの意見への対応については、最終的にはホームページなどで公表になるのであれば、先ほど、川上委員が言われたような「自分の意見はきちんと頭に入っているのだな」と意見した人が思うような書き方をされたほうがいいと思います。意見8番の17ページに対する意見ですが、文頭に「温暖化が～」という記載があり、意見を提出した人は温暖化のことが頭にあると思います。温暖化については、意見の対応に記載がないので、自分の思いが伝わっているのか不安になるので、対応を書いたうえで「ご意見いただいた点も含めまして計画を推進していく上での参考とさせていただきます。」といったような記載にすると、意見を出した人は「自分の意見は伝わっているな」と安心すると思うので、川上委員が指摘された11番、13番などはそういった記述ができないか検討してもらって、自分の意見が伝わった感がでて、意見を言っても無駄だという気持ちが薄れれば、今回だけでなく、次回以降、パブリック・コメントをする時にも伝わるのではないかと思います。最終的に計画に基づくいろいろな施策をどうするかについては、制約があると思いますが、パブリック・コメントの対応状況の書き方をもう少し工夫されると今後の役に立つのではないかと思います。

【会長】

市民からのコメントへの真摯な対応をするということですね。

【事務局】

パブリック・コメントを提出いただいた方に対して、自分たちの意見がどのように伝わって、どのように反映されたかというのが非常に大事だと思いますので、廣山委員に意見を頂きましたので、意見の対応につきましては、パブリック・コメント対応を公表する前に整理したいと思います。

【委員】

博多湾では、底質改善のために、スラッジアウトという微生物製剤を使って試験しており、いい結果が出ております。これを計画にも入れていただきたいと思います。

【事務局】

野上委員から意見がありましたスラッジアウトという微生物を利用した湾内の底質改善につきましては、15ページの9行目に「微生物を利用した湾内の底質の改善」と記載しておりますので、今後、そういったものも活用しながら博多湾の環境改善に努めていきたいと考えております。

【委員】

パブリック・コメントとしては意見が少ないのかと思いましたが、意識の高い内容だと思います。どういった方が関心を持って意見いただいたのか気になったのですが、わかれば教えてください。

【事務局】

4 通いただいたうち 2 通は一般市民の方，1 通は N P O 法人の方で，もう 1 通が以前，経済研究所などのような専門的な機関に勤務されていた方でございます。

【会長】

資料 2 の 4 ページに(3)国の動きがありますが，後半に T P P の記載があります。今，アメリカが T P P を離脱しまして，アメリカが離脱すると T P P が成立しないと言われていいますので，現状を少し反映させて文面を修正する必要があると思いたいますがいかがでしょうか。

【事務局】

4 ページの T P P の記載については，1 2 か国間での協議が無理だという話がありましたので，現状に合わせて事務局で修正をかけさせていただきたいと思いたいます。

【委員】

4 ページに記載している内容は，T P P の発効についてはどこも記載してないので，発効するかどうかというのはあまり心配されなくていいと思いたいます。世の中では現在の形で T P P が発効する可能性はほぼなくなったと言われていいますので，修正はされたほうがいいと思いたいます。重要なキーワードである，成長産業として力強い農林水産業をつくりあげていくことをめざしているというのは，T P P が発効しなくても国の施策としては続きますので，この文章は残していただきたいたいです。来年度の水産予算の概要も T P P 関連を想定した水産業の成長産業化，強い水産業づくりの施策も含まれていいます。

【委員】

資料 2，2 ページの計画の位置づけの図ですが，現在の福岡県の計画は，福岡県水産振興基本計画ですが，平成 2 9 年度より福岡県農林水産振興基本計画になる予定なので修正いただければと思いたいます。

それと 3 6 ページの姪浜地区の特色，5 行目に「養殖ノリは、『焼きのり』や『味付けのり』などに加工され，姪浜の特産として販売されています。」と記載されていますが，最近，焼きのりや味付けのり以外にものりの佃煮やふりかけが販売されていて，ふりかけも外国人に購入いただけるようにローマ字表記したふりかけも販売されていますので，新たな商品開発に取り組んでいることについても P R していただければいいと思いたいます。

4 0 ページに記載しています小呂島のしまごはんですが，テレビ放映もされましたし，学校給食にも提供されるという話も聞いていいますので，せっかくであれば，学校給食にも提供されるぐらいの加工品になったということに記載してあげたほうが効果的なのではないかと思いたいます。

【事務局】

ただ今，有江委員からお話いただきました姪浜地区につきましては，意見ございま

したのりの佃煮，ふりかけが，すでに商品開発されております。小呂島につきましても，小呂島漁師のしまごはんは学校給食に活用されています。姪浜地区についても学校給食に活用されていますので，姪浜地区，小呂島地区について，加工品が学校給食に活用されたことを付け加えたいと思います。

【委員】

この総合計画の実施期間中に国では，オリンピック・パラリンピックが開催され，福岡市ではノルウェーやスウェーデンのホストタウンを受け入れられると聞いております。福岡市の水産業を世界に発信する良いチャンスだと思うのですが，このことに関する記述がありませんので，オリンピック・パラリンピックへの対応について何か触れていただければと思います。

【事務局】

国内消費，販売力強化などございますので，国内外の観光客に対してしっかりとPRしていきたいと思っております。オリンピック・パラリンピックまで記載するかは検討させていただきたいと思っております。

【委員】

国では，和食（日本の食文化）を世界に発信するために，内閣官房東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会推進本部事務局に，農林水産省食料産業局の食文化・市場開拓課和食室長が参事官として入っているくらいです。特にホストタウンでは，地元の食文化や食材を発信してほしい，その好機にしてほしいという期待もございます。福岡市の水産業も好機にしてほしいと思っております。

【事務局】

オリンピック・パラリンピック，世界水泳などもございますので，そういったものを見据えて水産物の情報発信について整理させていただきます。

【委員】

これからは若い人たちの時代だから，パブリック・コメントで，若い人たちの意見も知りたかったのですが，若い人たちに特化した意見の聞き方がなかったのだろうか。

オリンピック・パラリンピックの話も出ましたが，インバウンドの観光客が福岡市にも多いので，インバウンドに向けた取り組みも記載を加えるべきではなかったかと思っております。

【会長】

オリンピック・パラリンピックの話がでましたが，福岡市がノルウェー，スウェーデンのホストタウンになるということで，外国人の方々，インバウンドに対応した記述をするということですね。23ページから24ページにかけて国内流通と海外輸出の推進について記載はありますがこの文章を手直しできないかということでしょうか。

【事務局】

インバウンドの取り込みでございますが、松山会長から言われたように、23ページから25ページに触れておりますが、もう少し記載できるように整理したいと思います。

【委員】

パブリック・コメントの意見にもあったように、コラムがよくできていて、水産業に関心を持って読んでいただけるような内容になっていると思うのですが、計画で水産振興に力点が置かれており、市民に対してのアピールや広報活動が具体的に計画のどこに盛り込んであるのかと思います。

【事務局】

各種情報ツールの活用により、福岡市の水産業に関する新しく正確な情報を市民に発信すると記載しておりますが、市民向けに情報発信をしていきたいということを答申内容に表現するよう検討したいと思います。

【会長】

計画公表となったときにホームページに掲載され、市民のみなさんが確認できるようになるので、写真やコラムが載ってわかりやすい内容になっていると思います。公表された際には、是非とも積極的な広報をお願いいたします。

【委員】

水産振興になりますと博多湾をどのように環境改善していくかというのが大きなテーマになると思います。そこで15ページ中ほどに推進にあたっては、福岡市の関係局をはじめと記載してありますが、実際に福岡市の関係局のところで、博多湾環境保全計画推進委員会のホームページ、議事録を拝見しますと博多湾をどうやって環境改善していこうかということが記載してあります。環境局の博多湾環境保全計画推進委員会と連携を密にとりいただいで、福岡県水産海洋技術センターもメンバーに入っておりますので、博多湾の環境を改善してほしい、実効性のあがるような施策をお願いしたいと思います。

【事務局】

博多湾環境保全計画推進委員会の事務局の一員として入っております。他にも松山会長が委員として入っていらっしゃいます。福岡市は博多湾を抱いておりまして大事な漁場でございます。一生懸命、環境対策に取り組んでまいりたいと考えております。

【委員】

20ページの水産物の販売力強化・6次産業化の推進の件ですが、朝市・夕市の直販事業について、議会でも何度か規模を大きくするように行政としてもできないかという意見が出ていました。20ページ下から5行目のそのため、～販売ルートの開拓を進めます。と記載がありますが、朝市・夕市などの直販事業とマーケティング拠点施設を活用してということですが、朝市・夕市が販売ルートの開拓に結び付くのでは

なく、朝市・夕市の取り組みはあくまでも市民が魚を購入しているところなので、マーケティング拠点施設とは別に記載してもらったほうがいいのではないかと思います。

パブリック・コメントの提出状況についてですが、私は少ないのではないかと思います。鮮魚市場で市民感謝デー、福岡市農林水産まつりがあるなかで、パブリック・コメントを実施しますという広報があれば消費者側の意見が集まったのではないかと思います。特に鮮魚市場には若い人も多いため、パブリック・コメントを予告しておくという取り組みも必要ではないかと思います。

【事務局】

朝市・夕市の直販事業とマーケティング拠点施設の部分でございますが、直販事業が販売ルートの開拓になるかと言われますと無理がございますので、整理させていただきたいと思います。

また、パブリック・コメントについては、次回につきましては、広報を検討いたしまして多くの方に周知できますよう努力してまいりたいと思います。

【委員】

東京オリンピック・パラリンピックについては、全国の自治体に取り組んでいるイベントであるので、視野に入れてもらいたいです。

24ページに博多家の取り組みとして、東京ハーヴェストに出展とありますが、どういう内容、どの程度の式典になるのか教えていただければと思います。

【事務局】

東京ハーヴェストにつきましては、全国の農水産物や加工品のPRの場として提供されておりまして、農林水産物を含めまして、東京での販売、情報発信、PRを行っているものでございます。

【委員】

議会でいつも言うておりますが、首都圏に自治体がアンテナショップを作っています。以前からアンテナショップはあったのですが、銀座、日本橋など出店しております。そのアンテナショップの目玉は、農林水産物です。県の特徴ある農林水産物をアピールして、自分の自治体を売っているわけですが、自治体のアンテナショップがないのは、福岡県と佐賀県だけです。長崎県も今年、アンテナショップを作りました。東京でオリンピック・パラリンピックに取り組んでいる中で、東京ハーヴェストに一時的には出展しているけれども、常設のアンテナショップのような場があるというのは大事なことなので、計画に記載するかどうかは別にして、そういったことを視野に入れながら総務企画局、経済観光文化局等と連携して大きな視点で考えてほしいと思います。

【事務局】

以前、東京に行った時にアンテナショップを十数店舗見てまわりました。話を伺う中で、費用対効果ということもありますし、農林水産局だけでなく、各局と意見交換

しながら今後どうするか研究をしているところでございます。

【委員】

計画に記載できるかどうかわからないのですが、ふるさと納税もやりやすくなっていて、他都市ががんばっているところで、福岡市も水産業のブランド化しているものを水産振興の観点からふるさと納税でしっかりやっ払いこうという考え方はないのでしょうか。

【事務局】

ふるさと納税につきましては、現在、唐泊恵比須かきがふるさと納税の返礼品として提供しておりますので、今後、水産物、農産物を含めまして、ふるさと納税の返礼品として情報発信できればいいのかと考えております。

【委員】

他都市については、10万円ふるさと納税すれば5万円ほどの返礼品がありますが、福岡市財政局に聞いたところによりますと、少額の返礼品しかしていない。そういうなかで、福岡市に本来税収として入ってくる税金が減少するので、ふるさと納税という制度がある以上、福岡市でも努力すべきではないのか、という話もしたのですが、福岡市として水産業の振興としてつなげていく、工夫して積極的にがんばってもらいたいと考えております。

【委員】

地産地消・魚食普及の推進について、学校給食での子どもたちの魚食普及のために料理教室の内容充実など食育が定着するような踏み込んだ表現をしていただければと思います。

【事務局】

幼少期以降の継続した魚食普及活動が必要ということに記載しておりますが、学校給食、中学校で実施しております料理教室等を含めまして内容を充実させたいと思います。

【委員】

和食が世界遺産に登録されましたし、この5年間に、和食、食育を普及啓発していくためにも、是非、食育、食文化という言葉を入れていただきたいと思います。

オリンピック・パラリンピックの前にラグビーワールドカップもありますのでそのあたりもお願いいたします。

【委員】

直販事業や拠点を増やすのはいいことですが、物が同質化している現状では物は売れません。博多の魚、浜田の魚など、何処で獲れる魚も一緒に、だからブランド力をつけないといけないのです。そのためにも、切り口を変えて、お菓子だったり、ペットフードだったり加工技術の研究が望まれるのです。水産業の振興の上からも、いろいろな商品づくりを広い意味で考えていく必要があると思います。

【会長】

徳永委員のご意見はペットフード等の記載もした方がよいということでしょうか。

【委員】

いいえ、そうではありません。

【会長】

ただ今、皆様からいただきました、ご意見の修正等につきましては、答申前に、もう一度皆様にお集まりいただく機会がございませんので、どのように取り扱うか、事務局として意見をお持ちでしたらお願いいたします。

【事務局】

貴重な意見をいただきましたので、修正を加えたいと思います。内容につきましては、会長に一任していただければと思っております。

【会長】

今の事務局からの提案でございますが、私に一任ということですので、そのようにさせていただいてよろしいでしょうか。

【全員】

異議なし

【会長】

それでは、議題（２）「福岡市水産業総合計画の答申について」、事務局から説明をお願いいたします。

議題（２）福岡市水産業総合計画の答申について 資料 3 事務局より説明

【会長】

当審議会を代表して私と野上会長職務代理が出席して行うということでよろしいでしょうか。

それでは、これで本日の議事を終了いたします。ご審議ありがとうございました。

最後は、事務局に会議の進行をお返しいたします。

【事務局】

いろいろご意見ありがとうございました。本日のご意見を含めまして、事務局において、会長と整理させていただきたいと思っております。

それでは、閉会前に、椋野農林水産局長より、お礼のごあいさつを申し上げます。

【農林水産局長】

局長あいさつ

【事務局】

これをもちまして、平成28年度第3回福岡市水産業振興審議会を閉会いたします。本日は長時間に渡りまして審議いただき、ありがとうございました。